

令和3年度 夏季酪農大学開催される

主催：熊本県酪農青壮年部協議会、熊本県酪農女性部協議会、らくのうマザーズ



大川常務

8月25日（水）にらくのうマザーズ大会議室にて夏季酪農大学が開講されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年度は感染拡大防止を考慮しつつ県内酪農関係者への情報発信を目的に「Zoom」を活用して実施しました。当初は、講演の前に令和2年度九州生乳販連生乳品質共励会ならびに生乳増産奨励において本県より優秀な成績を収められた方々への表彰式が行われる予定でしたが、県内において急激に感染者数が増加したことから中止とし、会場には各協議会の三役および事務局のみ

の入場となりました。

今回は、らくのうマザーズの大川常務より「熊本県酪農組織整備に向けた基本構想」と題してご講演頂き、らくのうマザーズの組織概要から始まり、「一県一酪農協構想」のとりまとめや、今年4月より3つの組合が火の国酪農協へ集約されたこと（A段階）など、組織整備に係るこれまでの経緯について説明されました。

さらに、今後の展望について、現らくのうマザーズ会員である20組合を3組合まで集約するB段階、全酪農家が1つの組合（新酪農協）の会員となり、らくのうマザーズの事業を継承するC段階（最終段階）を示されました。酪農家戸数が年々減少している中、生産基盤の維持を図るために組織の強化は必須であり、あくまでも酪農家のために組織整備を進めていく必要があることを説明されました。

なお、初めてのリモート形式での開催となりましたが、70名を超える酪農関係者の方々に視聴いただき、滞りなく終了しました。今後も感染拡大防止に留意しつつ情報の発信等へ努めてまいります。



酪農を支える人材育成 “(一社)全酪アカデミー”

この度、全国酪農業協同組合連合会では、酪農生産基盤の確保の為に新規就農や経営継承を支援し酪農を支える人材育成事業に取り組まれ、事業運営を主体とする「一般社団法人全酪アカデミー」が8月2日に設立されました。

このことを踏まえ、去る8月19日に開催されました第7回理事会において、9月1日を目標に本会が本事業に賛同し全酪アカデミーへ賛助会員として参加することについてご協議頂き、承認を頂きましたので、下記の内容を以てご案内させていただきます。

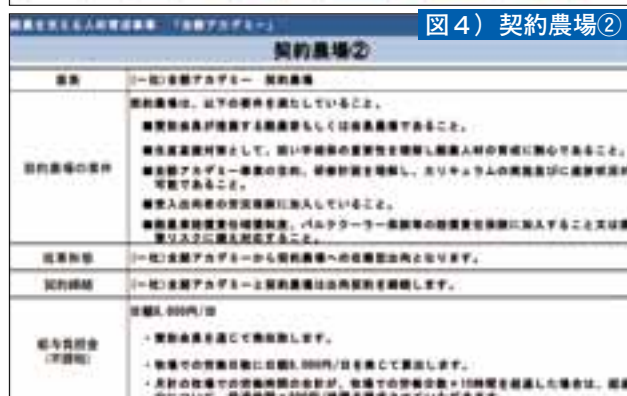
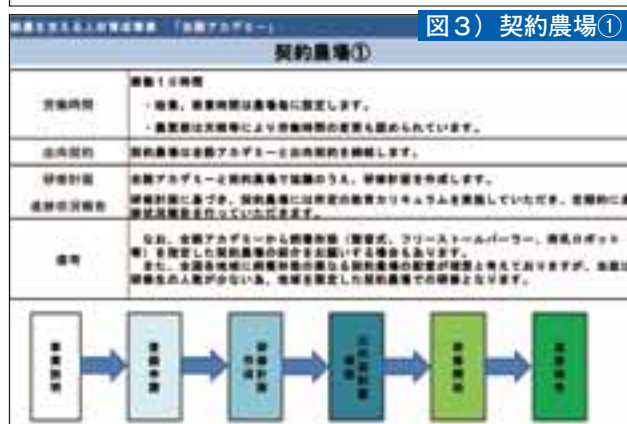
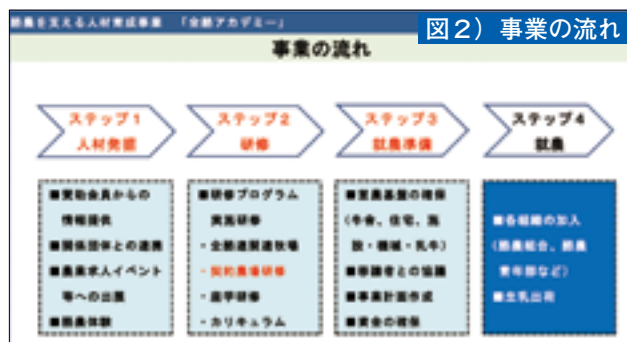
(一社)全酪アカデミーが行う主な事業内容は、**図1)**に示す通りとなり、**図2)**に示す事業の流れ(人材発掘・研修プログラム・就農準備・就農)に沿って、新規就農者を育成します。研修プログラムは一年目を全酪連関連牧場で、2年目から3年目を、**図3)**～**図5)**に示す酪農家が教育者となり契約農場となって実践研修を行っていく事業となっております。また、この研修期間において、研修生は全酪アカデミーの社員として雇用契約し給料を受給できる仕組みとなっております。

今後、本会は全酪アカデミーの賛助会員として、人材の発掘、契約農場の紹介さらには空き牛舎の調査を順次実施し、一人でも多くの本県における酪農の担い手並びに新規就農者を育成するとともに支援して参りますので、会員組合のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



酪農を支える人材育成事業 「全酪アカデミー」	
事業内容	
■酪農を支える人材発掘に関する事業	
■人材育成に関する事業(研修プログラム)	
■契約農場での従事に関する事業	
■就農候補地の確保とマッチングに関する事業	
■就農者受入のための支援体制の整備に関する事業	
■経営継承に関する支援(継承手法、経営計画作成)	
■賛助会員の新規就農事業に関する支援等の事業	
■酪農業に関する広報活動及び調査研究に関する事業	

1) 事業内容



酪農を支える人材育成事業(全酪アカデミー) 契約農場版より抜粋
詳しくは、らくのうマザーズ 生産本部 経営支援課 嶋村まで

令和2年度生乳品質共励会及び増産奨励事業の結果報告

牛乳乳製品をはじめとした「食の安全・安心」に対する消費者の関心が高まるなか、酪農業の発展と酪農経営の安定を図り、新鮮で良質な生乳を乳業者に供給しながら、生乳の有利販売に繋げることを目的に実施された生乳品質共励会と、生産者の増産意欲を喚起し、生乳生産基盤の維持強化を目的に実施された増産奨励金交付事業において、入賞された方々の報告を致します。

生乳品質共励会は、生産者の年間出荷乳量により3部門に分かれ、それぞれの最上位3名を最優秀賞、続く上位30名を優秀賞、採点の基準点(1,000点)を超える全員を優良賞として実施されました。

令和2年度は、本県より250ト未満の部において、1,180点を獲得された土肥倉森牧場が最優秀賞に選考され、トロフィーの他、副賞が贈呈されました。

増産奨励金交付事業では、品質共励会同様生産規模別に3部門に分かれ、年間及び需要期(6月～11月)の乳量が前年を上回り、生乳品質共励会で優良賞の基準を満たしている事を基に実施され、各部門上位15名と奨励者21名が選考されました。

本県からは、乳量階層250ト以上500ト未満の部門で、最上位に大無田美穂牧場が選考され、賞状と副賞が贈呈されました。

令和3年度の生乳品質共励会及び増産奨励金交付事業は既に始まっています。安全・安心な生乳生産のためにも、出荷前の事前検査を活用していただきますようお願いいたします。

令和2年度 生乳品質共励会受賞者一覧

番号	県	氏名	得点	R2年度 生産乳量 (トン)	規模別 ランク	表彰
1部	熊本	土肥 倉森	1,180	181	1	最優秀賞
2部	大分	(南)田中牧場	1,180	429	2	最優秀賞
3部	福岡	江上 正生	1,166	584	3	最優秀賞
1	長崎	尾崎 昌幸	1,174	39	1	優秀賞1
2	熊本	右田 祐樹	1,170	471	2	優秀賞2
3	熊本	(南)櫻井牧場	1,165	874	3	優秀賞3
4	長崎	野崎 輝敦	1,165	643	3	優秀賞4
5	宮崎	黒木 英教	1,165	240	1	優秀賞5
6	熊本	荒木 和也	1,161	296	2	優秀賞6
7	長崎	山口 直敏	1,159	228	1	優秀賞7
8	長崎	松谷 茂	1,157	276	2	優秀賞8
9	熊本	有限会社 茶ノ木	1,156	921	3	優秀賞9
10	熊本	(南)隈部牧場	1,154	785	3	優秀賞10
11	熊本	村岡 泰司	1,154	91	1	優秀賞11
12	福岡	野田 貞治	1,152	521	3	優秀賞12
13	熊本	平山 将	1,151	308	2	優秀賞13
14	宮崎	松浦 博俊	1,148	758	3	優秀賞14
15	福岡	松永 慎也	1,147	492	2	優秀賞15
16	大分	竹村富二男	1,147	418	2	優秀賞16
17	熊本	深水 誠弥	1,144	206	1	優秀賞17
18	熊本	内田 洋	1,142	432	2	優秀賞18
19	宮崎	財部 猛	1,138	282	2	優秀賞19
20	熊本	黒石 哲博	1,137	1,112	3	優秀賞20
21	熊本	上田 健治	1,136	426	2	優秀賞21
22	福岡	森下 団蔵	1,136	358	2	優秀賞22
23	熊本	坂本 篤幸	1,136	148	1	優秀賞23
24	熊本	工藤 伸一	1,123	329	2	優秀賞24
25	福岡	安丸 英宏	1,122	610	3	優秀賞25
26	宮崎	去川 勇	1,120	117	1	優秀賞26
27	熊本	(株)松島牧場	1,119	769	3	優秀賞27
28	宮崎	赤木 大介	1,119	378	2	優秀賞28
29	熊本	竹野 和也	1,119	342	2	優秀賞29
30	宮崎	田中 武志	1,119	254	2	優秀賞30

1部：250ト未満 2部：250～500ト 3部：500ト超

生乳品質共励会 250ト未満の部

最優秀賞 土肥倉森さん



受賞者コメント

今回、最優秀賞をいただき光栄なことと思います。

日頃から特別なことをしているという自覚はありませんが、家族

である牛たちが毎日元気で牛乳をいっぱい出してくれることに感謝しながら、夫婦二人で日々の作業をしています。これからも安全・安心で良質な生乳生産に頑張っていきたいと思っています。

増産奨励金交付事業 250ト以上500ト未満の部

1位 大無田美穂さん



受賞者コメント

新規就農から気がつくと早3年。思いがけない受賞で大変嬉しく思います。

牛が大好きで無知な私に、周りの人たちから助けられ、家族同然の牛達と一生懸命頑張ってきました。酪農は大変なこともありますが、やりがいのある産業だと思います。

これからも「健康な牛＝おいしいミルク」を第一に牛達と頑張っていきたいと思っています。

令和2年度生乳増産奨励事業順位

1. 年間乳量：250ℓ未満

部門順位	会 員	氏 名	年間スコア	需要期スコア	増産スコア
A-1位	大分県酪協	森 隆則	163.5	222.0	385.5
A-2位	宮崎県経済連	菓子野 誠	156.1	180.4	336.5
A-3位	長崎県酪連	尾崎 昌幸	137.1	181.2	318.3
A-4位	熊本県酪連	中根 康介	146.8	165.5	312.3
A-5位	宮崎県経済連	時任 昌武	132.7	171.8	304.5
A-6位	長崎県酪連	中村 隆馬	133.3	170.7	304.0
A-7位	佐賀県農協	森沢 達也	145.0	147.5	292.5
A-8位	宮崎県経済連	上田 正志	129.8	155.7	285.5
A-9位	熊本県酪連	豊田 末人	139.1	146.2	285.3
A-10位	熊本県酪連	岡村 泰輔	142.3	139.2	281.5
A-11位	熊本県酪連	野口 孝昭	134.3	147.1	281.4
A-12位	長崎県酪連	白井 精一	133.8	143.8	277.6
A-13位	ふくおか県酪協	西岡 洋	145.1	131.5	276.6
A-14位	熊本県酪連	土肥 倉森	137.2	134.7	271.9
A-15位	長崎県酪連	岩永 耕一	130.2	141.4	271.6
A-奨励賞	長崎県酪連	井上 紀一	133.1	136.5	269.3
A-奨励賞	熊本県酪連	坂田 毅弘	132.1	137.1	269.2
A-奨励賞	鹿児島県酪協	神田 淳一	133.0	135.5	268.5
A-奨励賞	宮崎県経済連	鷗野 敏郎	129.8	138.5	268.3
A-奨励賞	ふくおか県酪協	石井 幹雄	115.3	148.4	263.7
A-奨励賞	佐賀県農協	井上昭一郎	116.9	122.2	239.1
A-奨励賞	大分県酪協	工藤 博士	108.2	120.8	229.0

2. 年間乳量：250ℓ以上500ℓ未満

部門順位	会 員	氏 名	年間スコア	需要期スコア	増産スコア
B-1位	熊本県酪連	大無田美穂	175.6	210.8	386.4
B-2位	宮崎県経済連	平川 剛士	163.8	191.9	355.7
B-3位	大分県酪協	黒木 明雄	171.5	154.0	325.5
B-4位	熊本県酪連	三池 裕昭	140.7	164.7	305.4
B-5位	長崎県酪連	松本 良太	143.0	155.8	298.8
B-6位	熊本県酪連	三池 哲雄	142.0	152.1	294.1
B-7位	宮崎県経済連	染川 忠文	140.2	152.7	292.9
B-8位	熊本県酪連	池田 洋	139.2	144.7	283.9
B-9位	宮崎県経済連	平川 浩人	134.2	142.5	276.7
B-10位	熊本県酪連	中村 春美	134.0	141.3	275.3
B-11位	鹿児島県酪協	鮫島 広美	134.4	137.8	272.2
B-12位	大分県酪協	甲斐 英幸	126.7	144.4	272.1
B-13位	宮崎県経済連	有限会社有田牧畜	136.1	133.2	269.3
B-14位	熊本県酪連	松岡 博幸	124.4	142.9	267.3
B-15位	ふくおか県酪協	池田 健治	127.3	138.4	265.7
B-奨励賞	鹿児島県酪協	内匠 秋夫	129.1	131.3	260.4
B-奨励賞	熊本県酪連	別城 国弘	129.4	130.8	260.2
B-奨励賞	長崎県酪連	大久保 英	123.6	133.8	257.4
B-奨励賞	大分県酪協	株式会社ゆいん牧場	125.2	129.8	255.0
B-奨励賞	宮崎県経済連	水谷翔太郎	119.4	130.3	249.7
B-奨励賞	ふくおか県酪協	森 次廣	121.0	126.6	247.6
B-奨励賞	佐賀県農協	福田 裕治	114.0	122.1	236.1

3. 年間乳量：500ℓ以上

部門順位	会 員	氏 名	年間スコア	需要期スコア	増産スコア
C-1位	宮崎県経済連	日高牧場	191.4	224.5	415.9
C-2位	熊本県酪連	株式会社阿蘇ファーム	175.7	181.7	357.4
C-3位	熊本県酪連	本田 真人	145.8	164.2	310.0
C-4位	熊本県酪連	COLLECT	141.5	147.6	289.1
C-5位	宮崎県経済連	川野 勇一	147.3	141.4	288.7
C-6位	熊本県酪連	株式会社高木牧場	138.0	143.2	281.2
C-7位	熊本県酪連	株式会社カミロファーム	138.1	138.7	276.8
C-8位	熊本県酪連	倉岡 繁	127.2	144.3	271.5
C-9位	佐賀県農協	株式会社風の牧場	131.0	138.6	269.6
C-10位	熊本県酪連	井出 政宏	142.1	126.3	268.4
C-11位	熊本県酪連	水島 志朗	127.5	137.6	265.1
C-12位	熊本県酪連	尾方 学	125.4	135.0	260.4
C-13位	鹿児島県酪協	工藤 雅彦	128.1	130.9	259.0
C-14位	熊本県酪連	株式会社洞田貴牧場	125.1	128.8	253.9
C-15位	熊本県酪連	古庄 和廣	123.2	130.6	253.8
C-奨励賞	鹿児島県酪協	株式会社トリムラビ牧場	124.6	128.7	253.3
C-奨励賞	熊本県酪連	堀 太	121.0	130.6	251.6
C-奨励賞	宮崎県経済連	株式会社池島牧場	126.9	124.1	251.0
C-奨励賞	大分県酪協	豊田 伸司	119.9	127.4	247.3
C-奨励賞	ふくおか県酪協	永田 弘	120.3	119.3	239.6
C-奨励賞	長崎県酪連	堀越 直人	110.8	113.1	223.9
C-奨励賞	佐賀県農協	狩野 剛	107.8	108.8	216.6



COLUMN — コラム —

担い手確保を目的に

「一般社団法人 全酪アカデミー」を設立

皆さま、こんにちは。全酪連 総務部 酪農を支える人材育成課の坂本です。覚えていただいている酪農家さんはいますでしょうか。今から16年前になりますが、平成17年から平成20年にかけて、全酪連 福岡支所 購買推進課で熊本県を担当し、皆様の牧場にも飼料設計等で訪問させていただきました。その節は、熊本県の酪農家さん、そしてらくのうマザーズの職員の皆様には大変お世話になりました。熊本での多くの酪農家さんとのやり取りやその経験が、その後の配属先での業務に活かしたことを考えますと、大変充実した貴重な3年間だったと感じております。改めて感謝申し上げます。私が熊本県を担当していた頃は、県内には950戸の酪農家さんが生乳出荷をしていました。8月31日現在の熊本県内の酪農家戸数は443戸となっており、残念なことに私がお世話になった多くの酪農家さんも経営を中止されていると聞きました。

私は熊本県を担当した後、南九州事務所に異動となり、宮崎県、鹿児島県にて同じく購買推進業務を経て、札幌支所に異動し畜産業務を担当しました。札幌支所での畜産業務は、北海道の会員と都府県の会員との間に入って業務を行うことも多く、そのため全国の農協・酪農組合に訪問させていただく機会もあり、その地域の情勢や酪農生産基盤対策を勉強させていただきました。

会員を訪問する中で、私が衝撃を受けた北海道のある農協の話の少しだけさせてください。その農協は、生乳を出荷する組合員が約160戸、そのうち約2割の組合員が新規就農者とのことで、ここ数年は、農協として過去最高の生乳生産量を更新していると言います。

昭和57年に最初の新規就農者が誕生し、農協は

そこから地道に地域の研修牧場と連携し、酪農を志す者を新規就農に繋げているそうです。さらに当農協で



坂本 敬太郎 氏

は、平成29年に担い手育成確保の取り組みの拡充を図るため、新たに法人を設立し新規就農者の研修施設（搾乳施設・住宅）を建設し、酪農人材の育成と確保に努めているとのことでした。人材確保については、東京、大阪で開催される新農業人フェア（年間8回）にブースを出展し採用活動を行うほか、関係団体からの紹介などから人材確保を行っているそうです。地域の酪農家、行政そして農協が一体となり、酪農家戸数と生乳生産量の維持に努めている事例であるといえます。

さて、前置きがとても長くなりましたが、私が所属する「酪農を支える人材育成課」は皆様にとって馴染みのない部署名だと思います。本年7月に全酪連本所総務部に設置された新しい部署になります。課名から想像できるかもしれませんが、酪農家、牧場従業員、酪農ヘルパー、酪農後継者など“酪農を支える人材”を育成することを目的に新設されました。当課の具体的な事業内容としては、本年8月に全酪連と全国酪農協会が発起人となり設立しました「一般社団法人 全酪アカデミー（以下、全酪アカデミー）」の事務局運営を行います。

全酪アカデミーでは、酪農就農等を志す者を雇用し、就農支援プログラム（教育カリキュラム）を実施します。就農支援プログラムでは、全酪連関連牧場や契約農場等にご協力いただき、酪農就農までに習得したい「搾乳作業」「飼料給与」などの実地研修と「飼養管理」「酪農経営」「畜産関連法」などの座学研修を実施します。さらに、新

規就農に向けては、就農地の確保、事業継承、資産譲渡などの課題に対し、全国の会員と連携し多面的なサポートも行っています。

前述の北海道の農協独自の取組みは、全国どの地域の酪農組合（連合会）でも行える事業ではないかもしれません。しかし、この先20年、30年後、さらに長くこの地域に酪農を残そうと思え

ば、取り組まなければならない事業かもしれません。そして、今からでも決して遅くない取組みだと思っております。全酪連、全酪アカデミーは、全国の会員と連携し、人材発掘と就農地確保を行い「酪農を支える人材の確保」に繋げていきたいと思っております。



経歴

坂本 敬太郎氏

平成7年 北海道訓子府町 龍田牧場 酪農実習生
平成10年 福岡県久留米市 (有)今村ふれあい牧場入社
平成15年 全酪連入会 福岡支所 購買推進課 総合推進
平成17年 購買推進課 熊本県担当
平成20年 南九州事務所
平成28年 札幌支所 畜産課長
平成31年 本所 購買生産指導部 畜産課長代理
令和3年 本所 総務部 酪農を支える人材育成課長、一般社団法人全酪アカデミー事務局長



Robotic Feed Pusher

BouMatic

FP-1, FP-2 フィードプッシャー

- ・マグネットレール上を安全・正確に走行します。
- ・餌押しの手間が省け、労働時間を軽減します。
- ・常に餌を採食範囲に寄せ、廃棄飼料を削減します。
- ・採食量を増加させ、乳量の増加に貢献します。

中央乳機株式会社

営業所 熊本市北区龍田1丁目2-2

TEL (096) 338-7728(代)

FAX (096) 338-7722

出張所 球磨郡あさぎり町上東136-4

TEL (0966) 47-0390(代)

FAX (0966) 47-0391

令和3年度（前期）牛群審査・体型調査報告

熊本県の審査概況について

一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会 審査委員 梶沢 洋二

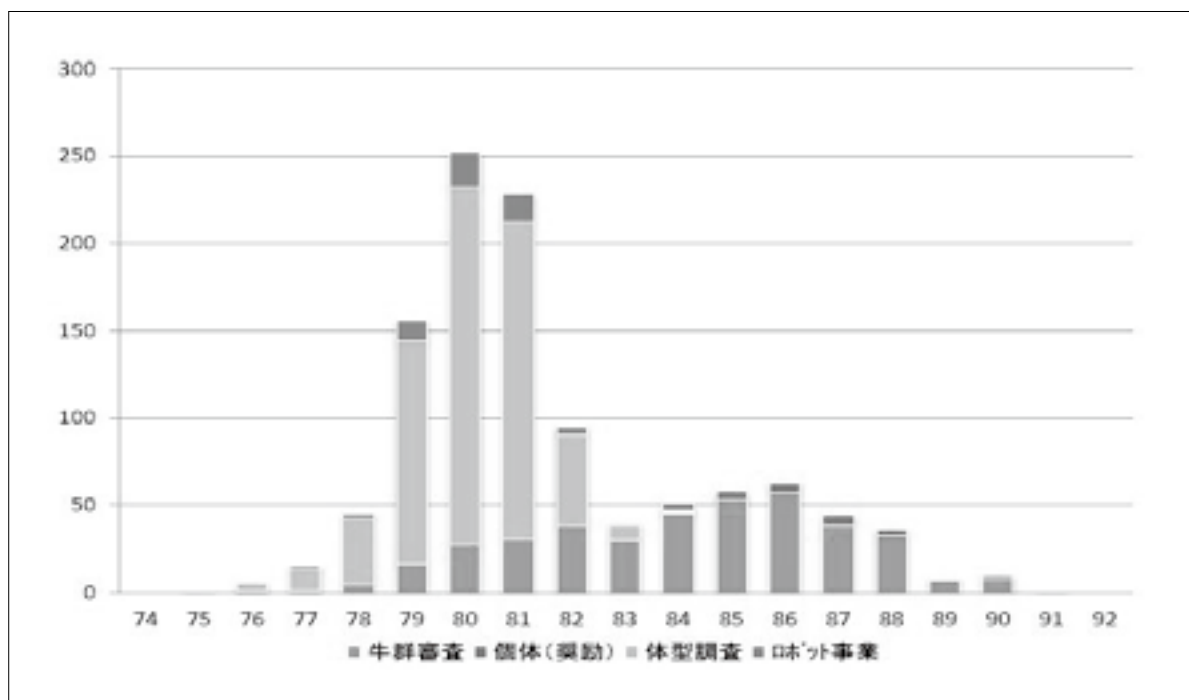
去る7月12日から8月6日まで、約1ヶ月間にわたり牛群審査並びに体型調査を実施いたしました。前回は平成29年の後期であったことから、3年半ぶり4度目の訪問となりました。期間中大変お世話になりました生産者、らくのうマザーズの方々をはじめ、関係機関の皆様方には心より感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染の影響で、昨年より世界的に大変な状況を迎えており、国内においても、県によっては「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の体制がしかれている状況でしたが、本事業にご協力いただきましたことに、重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、今期牛群審査・体型調査では92戸の生産者を訪問し、牛群審査28戸388頭、奨励審査6戸24頭、体型調査68戸632頭、ロボット適合性調査5戸62頭の合計1,106頭を審査・調査することができました。今回の審査実施概況は「表1」のとおりです。昨年同期は、新型コロナ感染拡大防止により中止と

表1 令和3年度（前期）熊本県審査得点分布

	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	計	平均
牛群審査			1	1	4	16	27	31	38	30	45	53	57	38	32	7	8			388	84.2
個体（奨励）											1	5	5	6	4	1	1	1		24	86.8
体型調査		1	4	13	39	128	205	181	52	8	1									632	80.1
ロボット事業				1	2	12	20	16	5	1	4		1							62	80.5
計	0	1	5	15	45	156	252	228	95	39	51	58	63	44	36	8	9	1	0	1106	81.7



なったため、一昨年同期（元年前期）と比較しますと、牛群審査は54頭減少、奨励審査は13頭減少、体型調査は289頭増加となりました。元年度まで実施していた歩様調査事業は終了したにも関わらず体型

調査頭数が増加したこともあり、トウモロコシ刈取り作業の最盛期や真夏の暑い時期が重なり、急遽中止した農家さんもあるなかで、今期は例年より若干の減少に留まりました。

◆平均得点の結果は例年並み

今回の審査得点については、牛群審査で84.2点（-0.6）、奨励審査で86.8（+1.5）、体型調査で80.1（+0.5）、ロボット適合性調査で80.5（-0.8）という結果でした。※（ ）は前年後期と比較

表2 熊本県における審査・調査実施状況

年度		牛 群 審 査				体 型 調 査						審査・調査	平均
		戸 数	頭 数	奨 励	合 計	戸 数	材料牛	同期牛	歩 様	ロボット	合 計	合計頭数	得 点
29年度	前 期	37	415	31	446	87	170	439	0	0	609	1055	81.9
	後 期	38	457	39	496	75	138	239	250	0	627	1123	82.5
	合 計	75	872	70	942	162	308	678	250	0	1236	2178	82.2
30年度	前 期	39	494	27	521	84	162	441	182	0	785	1306	81.6
	後 期	40	559	21	580	107	204	610	570		1384	1964	82.1
	合 計	79	1053	48	1101	191	366	1051	752	0	2169	3270	81.9
01年度	前 期	35	442	37	479	74	127	216	395		738	1217	81.9
	後 期	34	424	37	461	106	209	531	224	181	1145	1606	82.1
	合 計	69	866	74	940	180	336	747	619	181	1883	2823	82.0
02年度	前 期				0						0	0	
	後 期	38	609	13	622	84	182	807	0	53	1042	1664	82.0
	合 計	38	609	13	622	84	182	807	0	53	1042	1664	82.0
03年度	前 期	28	388	24	412	68	186	435	0	62	683	1095	81.7
	後 期				0						0	0	
	合 計	28	388	24	412	68	186	435	0	62	683	1095	81.7

※戸数は延べ戸数

また、熊本県における審査・調査の実施状況を示しました。（表2）昨年度は後期のみの実施であったことから、例年より少ない実施頭数でした。今年度は前期分だけですが、概ね例年通りでした。平成29年度から5年間の傾向を見ますと、多少の凹凸はあるものの平均得点は概ね毎年同じ状況にあることが解ります。

今回訪問しました牧場の牛群につきまして、乳器構造の改良は飛躍的であり、特に初産牛における後乳房の付着の高さや幅、乳房底面の高さは概ね好ましい状態にあったと思います。しかしながら、尻の構造において腰角と坐骨が水平または高いもの、尾根が極端に低く陰門等に蓋をするような形状にあるものが散見されましたことは、惜しまれる点であり、尻については繁殖性に関連する部位であることから、今後の改良に心掛けて欲しいと思います。また、機能的生産寿命と深い関係にある肢蹄におきましては極端な曲飛、飛節の腫れや繋の弱いもの等が散見されました。肢蹄は体型形質の中でも遺伝率が他形質に比べ低いため、牛床の改善や削蹄等管理に心掛けていただきたいと思います。

◆高得点牛（E X）は10頭

表3

高 得 点 牛										※90点以上
名号	登録番号	生年月日	父略符号	所有者	住 所 氏 名	今回得点 (体貌骨格 肢蹄)	審査月齢 乳用強健性	産次 乳器)		
オークリーフ サラ スパークル	1446607570	H26. 06. 22	JP3H53999	球磨郡錦町 榎昇成龍	91	2E	7-01	4 産	(90 88 92 92)	
ドリーム ソロモン マセラティ	1536108949	H28. 12. 23	200H10146	合志市 松野 佑哉	90		4-06	3 産	(90 88 90 90)	
アークヒル MBB アンブローズ	1530109041	H28. 11. 28	JP3H57077	球磨郡多良木町 榎荒木牧場	90		4-07	3 産	(90 87 89 91)	
キー スパークリング テラモツチ	1501498907	H28. 03. 05	JP3H53999	合志市 松島 太一	90		5-04	3 産	(88 87 90 92)	
ウイナーメード CH エアロ ダミオン	1477351978	H28. 01. 12	7H7004	合志市 後藤 勝	90		5-06	4 産	(90 89 89 90)	
アークヒル BVK ブラッドニツク	1508608675	H28. 01. 16	7H10999	球磨郡多良木町 榎荒木牧場	90		4-05	3 産	(90 87 91 90)	
ファインクレスト パーク スカイ A RED フタゴ	1431410659	H27. 02. 09	200H5892	菊池郡大津町 南つた牧場	90		6-06	4 産	(90 88 92 90)	
イノウエファーム チツブ スタンリーカツブ	1471984943	H26. 12. 24	7H10920	玉名郡和水町 榎井上牧場	90		6-06	4 産	(91 87 92 89)	
キー ジャスト DO IT ラブ シドニー	1353097907	H26. 10. 10	200H2137	合志市 松島 太一	90	2E	6-09	4 産	(90 86 91 91)	
クレツグ フローレス ヘンドリカ ET	1353151593	H26. 05. 25	1H2509	菊池市 永田 大貴	90	2E	7-01	5 産	(89 88 91 90)	

今回エクセレント（90点以上）と評価した牛は新規で7頭、得点更新（2E）で3頭の合計10頭（表3）となりました。いずれの牛も骨格構造に優れ、乳器については、後乳房の付着の高さや強さがあり、乳器の形状に優れた牛が多くみられました。これも、体型改良にご尽力いただいた結果だと思われます。

◆結びに

審査委員になり、今年で7年目を迎え今回は「フル日程の熊本県」2回目の審査を担当させていただきました。前は、後期の12月という事で、朝霜が降り、時おり雪の降る寒さの中の実施でしたが、今回は前期で、本来なら5月下旬から6月にかけてお邪魔するところ、新型コロナ感染拡大の影響もあり、約2ヵ月の延期となり、7月から8月にかけての真夏の暑いさなかでの実施となりました。毎日、2ℓ以上の水分補給をしながらの審査でしたが、私の地元群馬県は、関東平野の一番奥という事で、真夏は朝晩の気温が下がらずに熱帯夜が続くことを考えると、菊陽町の夕方は楽園にいるかのような清々しい風を感じることができ、暑い中でも気持ちの良い毎日でした。これも海が近いからでしょう。私の住んでいる海無し県群馬からは、一番近い海（東京湾）でも直線距離にして約100kmあり、それに都内のヒートアイランド現象がプラスして非常に暑くなります。したがって、隣県の熊谷市や、本県の伊勢崎市、館林市等は毎年最高気温更新とニュースで騒がれているわけです。話はそれでしたが、今回も無事に全日程を乗り切ることができ、大変ありがとうございました。

まだまだ震災や豪雨災害からの復興・復旧が必要な地域もある大変な状況のなか、また、新型コロナが猛威を振るい続けているなか、生産者の皆様には、とてもとても温かく迎えて頂きましたことを、この場をお借りして重ね重ね感謝申し上げます。そして今後、熊本県の酪農がますます発展していきますよう心よりご祈念申し上げます。報告といたします。ありがとうございました。

分娩前から次の授精に対する準備は始まっている

生産本部 技術課 梶山 清久

みなさんは原始卵胞という言葉聞いたことがありますか？卵巣には未熟な卵が多く存在しており、それを原始卵胞と言います。図1に示すように原始卵胞が一次卵胞、二次卵胞、成熟卵胞と徐々に成長し、排卵できる卵（成熟卵胞）になるまでに70～80日かかると言われています。そのため、今排卵している卵の品質は70～80日前の牛の状態を反映していると言われています。

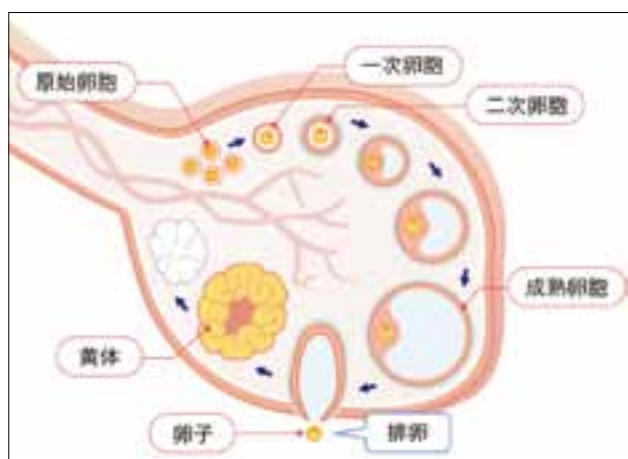


図1. 卵胞の成熟過程

図2は、分娩後のエネルギーバランスと、分娩後初回から6回目までに排卵する卵胞の発育過程を表しています。エネルギーバランスが折れ線で示されています。

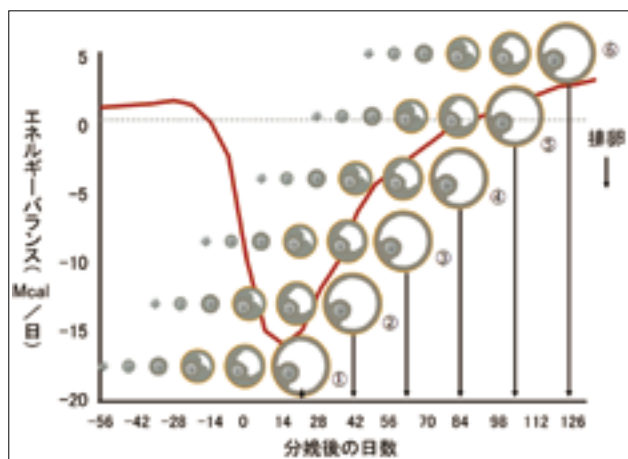
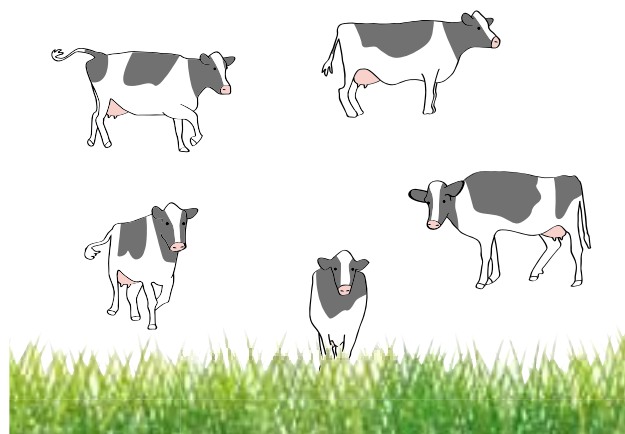


図2. 分娩日数とエネルギーバランス

①、②は乾乳前期に原始卵胞が発育を開始するためエネルギー不足になりやすく、大きな影響を受けにくいため卵の品質が良く、良い発情がきやすいとされています。しかし、③～⑤は発育開始する時期にエネルギーバランスが大きくマイナスになるため発情がこなかったり、卵子の品質が低下したりします。

ホルスタインの平均妊娠期間は279日となっており、1年1産を達成しようとする、365から279を引いた86日が空胎日数となります。分娩から86日以内に授精させ、受胎すると1年1産を達成することができます。図2でみると④に相当します。

以上のことより、繁殖を良くするためには分娩後のエネルギーバランスをどれだけマイナスにしないかが重要になります。そのためには周産期疾病を発生させないこと、分娩後の乾物摂取量を減少させないことが大事です。減少させないためには、当たり前のことですが、乾乳牛に良質な粗飼料と十分な休息ができるスペースが必要となります。また、卵胞が発育する時に暑熱の影響を大きく受けるとされていますので、暑熱対策も必ず行ってください。



おいしい
エサ作り
②⑩

長雨に伴う自給飼料への影響 ～飼料用トウモロコシの生産状況と自給飼料確保対策について～

生産本部指導部営農指導課 増田 靖



8月の長雨（多雨・低温）は、飼料作物の生育や収穫などの作業に大きな影響を与えました。特に目立ったのが、飼料用トウモロコシでの作業の遅れです。7月中までの収穫や播種作業は順調でしたが、8月以降は長雨が影響し、作業出来ない状況が続きました。

■春播きトウモロコシの収穫状況と注意点

長雨の影響で刈り遅れとなったトウモロコシでは枯れ上がりが発生し、完熟期に達したものも多いと思われます。完熟した子実は、ハーベスターで破碎が出来ていない場合、消化率の低下が考えられます。給餌の際は、糞中に未消化の子実が出ていないか確認するなど、注意をお願いします。加えて、枯れ上がったトウモロコシにはカビの発生も見られましたので、飼料分析やカビ毒吸着剤の活用をご検討下さい。

■2期作目の生育状況

7月播種のトウモロコシは、長雨の影響を受けつつも生長出来ているところが多いようです。しかし、8月播種のトウモロコシは、湿害による生育停滞が発生し、水はけの悪いほ場に至っては、出芽後消失するケースが数多く見られ、播き直しを余儀なくされたところもありました。また、本

年は作業の遅れによって、8月下旬以降に播種されたところも多くなっています。この時期に播種されたトウモロコシは、子実の登熟が難しく、収穫時の水分が多くなることが予想されます。サイレージ調製の際には、霜に当てての水分調整や添加剤使用によるサイレージ発酵促進など、品質を確保するように努めましょう。

■他作物（エンバク）での粗飼料確保

トウモロコシ以外の作物で年内に収量を確保したい場合は、エンバク等の麦類で確保することが可能です。9月に播種すれば年内に収穫することが出来ます。年内刈りエンバク栽培の簡単なポイントは、以下の通りです。

◎年内刈りエンバク栽培のポイント

- ・播種時期：9月上旬～9月下旬
 - ・品種：極早生（超極早生）
 - ・播種量：8～10kg／10a
- ※湿害が起こりやすい場合は排水対策が必要
※硝酸態窒素が高くなる可能性があるため注意

飼料価格が高騰しているなか、自給飼料の安定確保は重要となっています。自給飼料に関することは、何でも構いませんので、らくのうマザーズ営農指導課までご相談下さい。



枯れ上がったトウモロコシ（8月22日 合志市）



水の溜まったトウモロコシほ場（8月12日 合志市）



料金

大人/	1,600円
学生/	1,300円
小学生/	900円
幼児(3歳以上)/	400円



感染対策として、入口にアルコール消毒の設置をはじめ、お食事以外時のマスクの着用、お料理をとる際の手袋の着用、テーブルの配置、席の間隔を空けてのご案内、飛沫防止の為、飛沫シートの設置、トングのこまめな交換を実施しております。



「サツマイモ・里芋収穫体験」
10月初旬～無くなり次第終了
開催日/土日祝
(※平日は3日前までの要予約)
開催時間/11:00～16:00
体験料金/1袋(約4～5kg)1,000円

阿蘇郡西原村河原3944-1 TEL096-292-2100 入場料:お一人 400円(3歳以上) 営業時間/10:00～17:00 休業日/11月末まで無休

乳業だより

2021年秋発売！ 新商品情報

2021年10月1日発売の新商品をご紹介します。
是非、ご賞味ください。



濃厚なバニラヨーグルトで癒やされて。ビフィズス菌入り！

濃密バニラヨーグルト (70g × 4個)

クリーミーな食感のまるでバニラアイスクリームのようなデザートヨーグルトです。

自家製の純生クリームと阿蘇山麓牛乳を使用した贅沢で
コク深い味わいをお楽しみください。



LINE 公式アカウント

新商品やキャンペーン
など最新情報を
お届けします。
ID: @mothers

